

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	2020年7月10日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	黒谷株式会社
【英訳名】	Kurotani Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒谷 純久
【本店の所在の場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市奈呉の江12番地の2
【電話番号】	0766(84)0001(代表)
【事務連絡者氏名】	代表取締役副社長 井上 亮一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自2018年9月1日 至2019年5月31日	自2019年9月1日 至2020年5月31日	自2018年9月1日 至2019年8月31日
売上高 (千円)	38,819,529	30,651,689	50,670,151
経常利益又は経常損失 () (千円)	55,146	110,014	289,820
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 () (千円)	44,322	70,492	230,616
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	120,782	86,715	334,417
純資産額 (千円)	7,553,820	7,224,359	7,340,185
総資産額 (千円)	18,322,203	16,443,700	17,832,346
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失 (円) ()	3.11	4.98	16.23
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) ()	-	-	-
自己資本比率 (%)	41.2	43.9	41.2

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (円) ()	9.78	11.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第34期第3四半期連結累計期間及び第34期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループの事業への影響については、今後も動向を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、第2四半期までは、懸念要因であった米中貿易摩擦問題や英国の合意なき離脱問題が決着したことから、底堅い成長が見込まれていました。しかし、第3四半期に入って、新型コロナウイルスの感染が世界で拡大したことで、都市封鎖など人の移動制限やサプライチェーンの寸断からマイナス成長となる可能性が強まってきたため、金融市場はじめ各市場は大きく下落いたしました。一方、各国は、世界的な経済危機を回避するため協調して金融政策、財政政策をはじめあらゆる対策を実施したことから、足元ではようやく落ち着きを取り戻し始めています。

このような外部環境のなか、販売数量では、スクラップが前年同四半期比13.7%の減少となったことで、全体でも同9.9%の減少となりました。一方、利益面においては、前述のように第3四半期に入って新型コロナウイルスによる世界経済悪化により、期中平均円ベース銅Cash価格は前年同四半期比11.5%減となったものの、当第2四半期までの緩やかな上昇局面での在庫管理の強化や安定した仕入価格の維持により、当第3四半期連結累計期間においても黒字を維持いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高306億51百万円（前年同四半期比21.0%減）、営業利益1億円（前年同四半期は営業損失17百万円）、経常利益1億10百万円（前年同四半期は経常損失55百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(非鉄金属事業)

非鉄金属事業の主力取扱商品である銅の期中平均円ベースCash価格が前年同四半期比11.5%減少、また、販売数量も同四半期比9.9%減少したことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は304億4百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

(美術工芸事業)

美術工芸事業は、新型コロナウイルスによる百貨店の臨時休業の影響を受け、純金製の仏像・仏具及びキャラクター製品などの販売が減少したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億47百万円（前年同四半期比23.7%減）となりました。

財政状態につきましては、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は133億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億22百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が11億17百万円増加した一方、たな卸資産が14億76百万円、前渡金が2億88百万円減少したためであります。

また、固定資産は30億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。

この結果、総資産は164億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億88百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は68億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億90百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金18億40百万円減少したためであります。

また、固定負債は23億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加いたしました。

この結果、負債は92億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億72百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は72億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上70百万円及び配当金の支払2億12百万円などにより、株主資本が1億32百万円減少したためであります。

この結果、自己資本比率は43.9%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,337,200	14,337,200	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	14,337,200	14,337,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	14,337,200	-	1,000,000	-	293,024

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 165,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,169,200	141,692	-
単元未満株式	普通株式 2,100	-	-
発行済株式総数	14,337,200	-	-
総株主の議決権	-	141,692	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
黒谷株式会社	富山県射水市奈呉の江12番地の2	165,900	-	165,900	1.16
計	-	165,900	-	165,900	1.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,015,627	3,133,362
受取手形及び売掛金	2 4,804,811	2 4,531,959
電子記録債権	2 859,855	2 796,148
商品及び製品	453,509	541,352
仕掛品	136,972	126,349
原材料及び貯蔵品	4,926,642	3,373,261
前渡金	526,236	237,238
その他	996,609	658,007
流動資産合計	14,720,265	13,397,681
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	882,780	821,743
有形固定資産合計	2,403,901	2,342,865
無形固定資産		
投資その他の資産	1 695,236	689,882
固定資産合計	3,112,081	3,046,018
資産合計	17,832,346	16,443,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,282,795	1,255,292
電子記録債務	2 246,065	255,088
短期借入金	5,458,140	3,617,770
1年内返済予定の長期借入金	1,160,580	1,341,374
未払法人税等	10,317	29,283
引当金	21,398	37,026
その他	309,929	363,107
流動負債合計	8,489,226	6,898,942
固定負債		
長期借入金	1,900,334	2,212,420
退職給付に係る負債	102,600	107,978
固定負債合計	2,002,934	2,320,398
負債合計	10,492,160	9,219,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,821	685,396
利益剰余金	5,680,763	5,538,851
自己株式	88,616	78,329
株主資本合計	7,277,967	7,145,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,861	13,860
為替換算調整勘定	71,079	64,579
その他の包括利益累計額合計	62,217	78,440
純資産合計	7,340,185	7,224,359
負債純資産合計	17,832,346	16,443,700

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	38,819,529	30,651,689
売上原価	37,884,466	29,606,135
売上総利益	935,063	1,045,553
販売費及び一般管理費	952,391	944,912
営業利益又は営業損失()	17,327	100,641
営業外収益		
受取利息	1,555	778
受取配当金	1,818	1,783
持分法による投資利益	5,351	-
デリバティブ運用益	1,303	79,176
受取保険金	30,008	1,897
保険事務手数料	1,384	1,293
助成金収入	1,924	1,364
その他	2,098	3,373
営業外収益合計	45,444	89,665
営業外費用		
支払利息	65,612	52,540
為替差損	8,793	18,867
持分法による投資損失	-	5,411
その他	8,856	3,473
営業外費用合計	83,262	80,292
経常利益又は経常損失()	55,146	110,014
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	55,146	110,014
法人税、住民税及び事業税	3,815	18,944
法人税等調整額	14,639	20,576
法人税等合計	10,824	39,521
四半期純利益又は四半期純損失()	44,322	70,492
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	44,322	70,492

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	44,322	70,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,290	22,722
為替換算調整勘定	853	2,228
持分法適用会社に対する持分相当額	8,976	8,727
その他の包括利益合計	76,460	16,222
四半期包括利益	120,782	86,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,782	86,715
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与え、金融市場はじめ各市場の変動にも影響を与えています。当該変動は当第3四半期末以降も一定期間にわたって継続することが予想されますが、世界各国の金融・財政政策の実施や各地における経済活動の再開により、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りに与える影響は限定的であると考えております。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であることから、今後の実際の推移が上述の仮定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
投資その他の資産	38,850千円	- 千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。四半期連結会計期間末日満期手形等の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
受取手形	16,017千円	75,774千円
電子記録債権	74,778	55,481
電子記録債務	569	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	129,423千円	164,793千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月27日 定時株主総会	普通株式	107,526	7.5	2018年8月31日	2018年11月28日	利益剰余金
2019年4月12日 取締役会	普通株式	106,120	7.5	2019年2月28日	2019年5月7日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月27日 定時株主総会	普通株式	106,120	7.5	2019年8月31日	2019年11月28日	利益剰余金
2020年4月10日 取締役会	普通株式	106,284	7.5	2020年2月29日	2020年5月7日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計(注)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,497,753	321,775	38,819,529	-	38,819,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,284	2,284	2,284	-
計	38,497,753	324,059	38,821,813	2,284	38,819,529
セグメント利益又は損失()	42,739	25,411	17,327	-	17,327

(注)セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計(注)
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,404,431	247,257	30,651,689	-	30,651,689
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1	1	1	-
計	30,404,431	247,259	30,651,690	1	30,651,689
セグメント利益	100,390	250	100,641	-	100,641

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	3円11銭	4円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	44,322	70,492
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	44,322	70,492
普通株式の期中平均株式数(株)	14,228,828	14,160,322

- (注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第35期（2019年9月1日から2020年8月31日まで）中間配当について

2020年4月10日開催の取締役会において、2020年2月29日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	106,284千円
1株当たりの金額	7.5円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年5月7日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月10日

黒谷株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 下条 修司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 博久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒谷株式会社の2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、黒谷株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。